

「子育ては、たのしくよ」 講師 畑中昌則氏 (山形県マジッククラブ会長)

◇見せて下さった色々なマジック

- ♣リング 2～3個のリングをつなげたり外したり、大きなリングにしたり…。
- ♣ビール 何もない筒からビールが…。新聞紙にビールを注いだのに、こぼれない。なくなったはずのビールが、新聞からコップに傾けるとまたいっぱい。
- ♣ハンカチ 結んだはずが引っ張ると解ける。ステッキに息を吹きかけるとハンカチに変わる。右手から左手に瞬間移動。
- ♣花 空っぽの袋からケースに入った花がいくつもいくつも…。
- ♣魔法の塗り絵 真っ白のノートが、一瞬で絵が描かれた塗り絵に変身。もう一度めくると、色が塗られた塗り絵に…。更にもう一度めくると真っ白のノートに戻り。

その他にも色々見せて下さいました。家庭でも挑戦できるように、種明かしもいくつか教えて下さいました。最後には本物の鳩も登場！皆さん童心に戻って驚きや感動の声を上げ、心がわくわくドキドキする時間を過ごすことができました。

◇マジックを通して畑中先生が感じていること

- 笑いは身体にいい → 身体に良いこと
 - ①運動 (“運”を“動”かして良いことを運んでくる)
 - ②拍手
 - ③大声 (ストレス解消)

※マジックを見て「楽しい」「驚き」「笑い」…感じたことを素直に表現すると身体に良い

- 手品は見せ方、喜ばせ方、そのための工夫が大事→子育ても…
子育てにマニュアルはない→一人一人得意・不得意みんな違う
その子の良さを見つけて伸ばしてあげよう
- 『すこし見る目をかえると みんなみんないい子』
いい子いい子と言ってあげる→いい子になる ダメダメというとならなくなる
小さいうちから「ダメダメ」を言うと人をいじめ

○学校に行く子へ

子どもは先生が大好き→先生の悪口は子どもの前で絶対言わないこと
先生を尊敬すると子どもは学校が楽しくなる

※人のことを悪く言うのは、上を向いて唾を吐くのと一緒に→必ず自分に降りかかってくる



◇演題「子育てはたのしくよ」から

- ② 言葉で物事をすまそうとしない
- ③ その言葉はだれの？何がしたいの？言葉に責任を持つ
- ④ だめだ だめだは だめにする
- ⑤ 手伝いは一緒にやろう 手で伝える→躰
- ⑥ 「わかったわかった」はいらない 話をよく聞く（聴 …14の心で聞く→福耳）
- ⑦ 他人と比べても伸びない あきらめじゃない わりきること
- ⑧ 能力はみんなもっている 頭脳・運動・器用さ・話す力などそれぞれが持っている色々な力をそれぞれが生かして世の中バランスを保っている
- ⑨ 知っていることとできることは違う
- ⑩ 口で言うより聞き上手に
- ⑪ よい人 よい出会い よい笑顔 —— 色々なところに行き、人に会い、話を聞こう
よい人のところにはよい人が集まってくる
頭のいい人ほど馬鹿になれる 馬鹿な人は利口ぶってるだけ
とにかく笑おう 笑顔は人を安心させる



- ❖その他にも心に響いたくさんのメッセージを頂きました
「今が大事」 今日がいいと、明日もいい いつも前向きに、今どうしようを考える
「なんだかんだ言っても さんなねものはさんなね」 自分に暗示をかける
「人の喜びが我が喜びとなる時 人生は真に幸せなものとなる」
「ほほえみはあなたの力 ほほえみはあなたの宝」
「いつの日も下を向いてなげくより 上を向いてほほえもう」
「人が見てなくとも やった事柄の値打ちは変わらない」

帰りには愛のあるメッセージの色紙を参加者全員にプレゼントして下さいました。
子育てに仕事にとお忙しい毎日と思いますが、色紙を見て、楽しかった畑中先生の
マジック&トークを思い出して、「笑い」と「笑顔」を忘れないでいきましょう。